

# グラシアス！ 太陽の国 メヒコ

前日本メキシコ学院日本コース 教諭  
現蘭越町立蘭越中学校 教諭 小林 真奈美

## メキシコについての基本知識



### 1. <正式国名・国旗>

メキシコの正式な国名は、「メキシコ合衆国」(通称メヒコ)です。ディストリート・フェデラル(D. F.)と呼ばれる1つの連邦区と、31の州からなっています。

国旗は、1984年に制定されました。メキシコ国旗の三色は、伝統的に、緑が「独立」、白が「カトリック」、赤が「メキシコ人とスペイン人との統一」を象徴しています。中央には「サポテンの上にとまり、ヘビを食べている鷲がいたら、そこに都を定めよ」というアステカの神話をもとにしたサポテンとヘビをくわえている鷲の図が描かれています。

### 2. <首都>

メキシコシティは、メキシコのみならず中南米の経済の中心地です。アステカ王国のかつての首都でもありました。およそ2200万人が暮らしており、近郊を含む都市圏の人口では、東京(東京圏)に次ぐ世界第2位の大都市です。気候的には「常春の国」と言われるほど過ごしやすい気候です。雨季と乾季がありますが、年間を通じて、温暖で湿度の低い快適な気候です。雨期の5月～10月頃は夕方にスコールが降ります。空気の汚れが雨で洗い流されて、適度な湿度になり一番過ごしやすい時期です。



「1日の中に四季がある。」と言われるほど朝昼夜の寒暖の差は大きいものがあります。11月から1月の頃は、朝の気温が10℃以下になることもあり、ある程度暖房器具が必要になることもあります。

世界の主要都市としては例がない標2240mの高地にあり、その国際空港(ベニトフアレス国際空港)はJAL便が運行している空港で最も標高が高い位置にあります。

### 3. <面積>

1,972,550km<sup>2</sup>(13位)で日本の約5倍の面積を持ちます。大半が山地と高原で総面積の約半分が1000m以上の高地になります。ポポカテトルなどの火山も多くあります。

### 4. <人口>

1億778万人(2006年)

### 5. <気候>

北緯15度から30度に位置しているため、熱帯、温帯、乾燥帯の気候が見られます。首都の平均気温は、13.7℃(1月)、16.5℃(7月)。年平均降水量は1266mmです。

### 6. <日本とメキシコの時差>

メキシコシティを含む中部標準時では日本より15時間遅れになります。日本が昼の12時の時、メキシコシティは、前日の夜の9時。5月から9月まではサマータイムになり14時間の遅れになります。メキシコ国内でも時差があるので旅行の時は気をつけましょう。

### 7. <国民>

メスティーソ(スペインとインディハナの混血) . . . . . 60%  
先住民族(インディオ) . . . . . 25%  
ヨーロッパ系(主にスペイン人。他にもイタリアやフランス、ドイツなどからの移民の子孫) . . . . . 14%  
その他にも日系メキシコ人やアフリカ系メキシコ人なども総人口の1%程存在します。

1897年に榎本移民団によるメキシコチアパス州に最初の日本人移民34名が入植しました。移民者の数は総計10,000人余りに達し、その子孫が現在でもメキシコの各地に住んでいます。

日系人数 17,412名(2006年10月現在)

在留邦人数 5,722名(2006年10月現在)

## 8. <言語>

公用語はスペイン語（メキシコ・スペイン語）です。政府の統計によるとメキシコには現在少なくとも 62 の言葉があります。（インドに次いで 2 番目、3 番が中国）

ナワトル語 約 256 万人 マヤ語 149 万人  
サポテカ語 78 万人

## 9. <宗教>

ローマ・カトリックが 89%、プロテスタントが 6%、その他が 5%。

## 10. <政治>

連邦共和制。元首は大統領。任期は 6 年で再選はできません。議会は二院制。上院は 128 議席で任期は 6 年。下院は 500 議席で任期は 3 年。2006 年 7 月 2 日、大統領選挙が実施されました。結果カルデロン現大統領が当選しましたが、対立候補側が開票作業に不正があったと主張、集計のやり直しを要求し、メキシコシティでは連日抗議集会やデモがあったりと落ち着かない状況が続きました。

## 11. <軍事>

メキシコには徴兵制度が存在します。男子は 18 才になると 1 年間の兵役の義務を果たさなければなりません。この義務を果たさなければ、パスポートも選挙権も与えられません。

## 12. <教育>

メキシコの教育は、6・3・3・4 制をとっています。始業期は 9 月で、翌年 7 月までが 1 学年年となります。1993~94 年にかけて行われた教育改革以前は、年間授業日数は 180 日でしたが、同改革により年間 200 日となりました。また、義務教育は完全保証で、授業料・教科書も家庭の負担はありません。各学校においては指導要領に従って授業が進められます。

小学校ではスペイン語、算数、歴史、公民、自然科学、体育、芸術、技術科の 8 教科が行われます。各時間配分は学校によって異なり、またさらに国定教科書の内容展開は担任に任せられる場合が多く、各自治体に派遣された指導主事がその指導にあたります。

中学校では、さらに地理、生物、化学、物理、代数、幾何学、教育概論、外国語などが加わります。教授言語はスペイン語。一般的に言えることとして、成績評価に関してはたいへん厳しく、小中学校でも落第があります。一教室あたりの生徒数に基準はありません。（見学させていただいた公立学校はだいたい 40 人前後でした。）また、名門私立学校の場合、通学は親が送り迎えをします。ほとんどの義務教育の学校では給食制度はありません。ただし、多くの公立小学校などでは午前・午後・夜間と 3 部制の授業を行っていることもあり、その子どもたちのために簡易食堂が設けられています。中学校

でも簡易食堂、売店が設けられているところが多くあります。

## テレビ学校

メキシコでは、1993 年に憲法及び一般教育法が改正され、中学校までが義務教育となりました。しかし、日本の約 5 倍の面積を持つメキシコ全土に中学校を整備し、各教科の教員を配置することは容易なことではありません。そのため、メキシコ公教育省（SEP）では、人工衛星を利用したテレビによる教育を行う学校を設立しています。もともとは過疎地の児童生徒に統一的な学習能力をつけさせるために創設されましたが、経済的にも学校を建てるほどの資金力がなかったり、教師の数が足りないために作られました。公立学校といっても、教師の給与は政府が出しますが、それ以外の経費はすべて保護者からの援助によって成り立っているのがメキシコの公立小中学校です。現在 30,000 を超えるテレビ学校がありますが、住宅開発が進み、過疎では無くなった地域にもテレビ学校はあります。私たちが研修で訪れたテレビ中学校は、メキシコシティからバスで 1 時間ほどの所にありました。一人の教師が全教科を教えていました。教科ごとにテレビ放送とリンクした教科書があり、当日はテレビを見た後に教科書を使って問題をやったりしていました。

## 上流社会の教育

メキシコの社会は、歴然とした階級社会であると同時に、貧富の差が非常に大きい社会です。富裕層の人々は、子どもの教育にも大変力を入れていきます。一流の教養を身につけ、自国語と英語を自在に操ることができるように、子どもたちをバイリンガル（2 カ国語）教育を行う授業料の高い私立の学校に通わせます。また、洗練された社交術を身につけさせるため高校卒業後は欧米諸国の大学に留学させたりします。

## 日本人家庭では

現在、メキシコ国内には、日本メキシコ学院・アグアスカリエンテス日本人学校・グアダラハラ補習校・モンテレー補習校があります。

メキシコシティでの長期滞在者の子女は、その大多数が日本メキシコ学院日本コース（メキシコ日本人学校）に就学しています。近年では、アメリカンスクール、グリーンゲイツ・スクール（イギリス系）に通っている子女も増えてきています。メキシコの公立・私立の学校などの、いわゆる現地校に就学している子女は少数です。

## 13. <通貨>

通貨の単位はペソ（メキシコペソ）とセンターボです。1 ペソは 100 センターボになります。1 ペソは日本円にすると約 10 円です。

#### 14. <産業>

世界で6番目の産油国。銀は世界1（2004年）。農業は砂糖、トウモロコシ、野菜、くだもの、コーヒーなどがあります。

#### 15. <貿易>

貿易相手国として、アメリカは輸出総額の約9割、輸入総額の約6割を占めています。（2003年）

#### 16. <GDP（国内総生産）>

2005年,145億ドル(14位)一人あたり9,600ドル

#### 17. <有名人>

ロレーナ・オチョア（女子プロゴルファー）  
カルロス・サンタナ（ミュージシャン）  
アレハンドロ・ゴンザレス（「バベル」映画監督）  
フリーダ・カーロ（画家）  
オクタビオ・パス（作家・ノーベル文学賞）

#### 18. <世界遺産>27カ所

##### 文化遺産

- ②古代都市パレンケと国立公園 - (1987年)
- ③シコシティ歴史地区とソチミルコ - (1987年)
- ④古代都市テオティワカン - (1987年)
- ⑤オアハカ歴史地区とモンテ＝アルバンの古代遺跡 - (1987年)
- ⑥プエブラ歴史地区 - (1987年)
- ⑦古都グアナフアトとその銀鉱群 - (1988年)
- ⑧古代都市チチェン・イツァ - (1988年)
- ⑨モレリア歴史地区 - (1991年)
- ⑩古代都市エル・タヒン - (1992年)
- ⑫サカテカス歴史地区 - (1993年)
- ⑬サンフランシスコ山地の岩絵 - (1993年)
- ⑭ポポカテペトル山腹の16世紀初頭修道院群 - (1994年)
- ⑮古代都市ウシュマル - (1996年)
- ⑯ケレタロの歴史史跡地区 - (1996年)
- ⑰グアダハララのオスピシオ・カバーニャス - (1997年)
- ⑱パキメの遺跡、カサス・グランデス - (1998年)

- ⑲トラコタルパンの歴史遺跡地帯 - (1998年)
  - ⑳ショチカルコの古代遺跡地帯 - (1999年)
  - ㉑カンパチェ歴史的要塞都市 - (1999年)
  - ㉒カンパチェ州、カラクムルの古代マヤ都市 - (2002年)
  - ㉓ケレタロ州シエラ・ゴルダのフランシスコ会伝道所群 - (2003年)
  - ㉔ルイス・バラガン邸と仕事場 - (2004年)
  - ㉕テキーラの古い産業施設群とリュウゼツランの景観 - (2006年)
  - ㉖メキシコ国立自治大学の大学都市の中央キャンパス - (2007年)
- ##### 自然遺産
- ①シアン・カアン - (1987年)
  - ④エル・ビスカイノのクジラ保護区 - (1993年)
  - ⑤カリフォルニア湾の島嶼および保護地区群 - (2005年)



# 日本メキシコ学院日本コースについて

日墨学院（にちぼくがくいん）は、社団法人日本メキシコ学院（Liceo Mexicano Japonés, A.C.）の通称です。リセオとも呼ばれています。

メキシコに在住する日系人及び日本人の間では、かねがねメキシコと日本の両国の文化がより親密に結ばれて欲しいとの熱い願いがありました。それが、親日的な当時の大統領ルイス・エチェベリア政権と当時の田中内閣等による様々な人達の支援によって、日本人が海外に初めて作った国際校がリセオです。当時としては、日本の教育課程を持つ日本人学校を含むということや、国籍を問わず誰に対しても広く門戸を開いた学校という点で画期的な学校でした。

今日では、大統領の子弟や文部大臣の子弟なども学んだステイタスの高い学校として知られています。

## 学院の目的と建学の精神

日本メキシコ学院は、日本・メキシコ両国民の相互理解の増進と教育文化の交流を図り、人類の連帯感を育み、世界の平和と繁栄に貢献し得る国際性豊かな、かつ、両国民にとって有為な人材を育成することを目的とし、建学の精神もここにある。

この目的にそって、本学院はメキシコ在留の邦人並びに日系人子弟の教育機関たるにとどまらず、広くメキシコ人子弟をも含めて日本メキシコ両コースを併存し、日本コースに於いては中学校まで、メキシココースに於いては高等学校までの一貫教育を行う。

また、広くその施設を開放して日本メキシコ文化紹介と成人教育を行って国際交流を推進する。

## 歴史

1974年3月 - 建設構想が始まる。

1974年5月 - プラボ・アウハ教育大臣が日本を訪問。奥野文部大臣と会談した際、日本メキシコ学院の設立が提唱される。

1974年9月 - メキシコを訪問した田中元総理とエチェベリア大統領との会談の結果、共同声明において同学院の設立は「両国民の相互理解のために画期的な重要性を有するものであって、早期建設を支援する」旨が発表される。

1974年9月29日 - メキシコ合衆国憲法による社団法人日本メキシコ学院「Liceo Mexicano Japonés, A.C.（リセオ・メヒカーノ・ハポネス）」を設立。

1975年4月 - 土地登記完了。

1976年春 - 建設工事が着工。

1977年9月29日 - 開校。

1977年9月29日、同学院は約640名の生徒を集めて開校し、「建学の精神」のもと、日墨両子弟の教育を一貫して実施し、教育交流と相互理解に貢献してきました。現在、学院の生徒は、1000名強を数えます。

同学院の授業コースとしては、長期在留邦人の子弟のために日本の文部省カリキュラムに準拠した日本コース（小・中学校生徒数142名（2003年11月現在））、メキシコのカリキュラムによるメキシココース（小・中・高校生徒数750名（2003年4月現在））、及び日本・メキシコ共学の幼稚園（園児数170名（2003年4月現在））があります。

学院は、日本コース及びメキシココース、並びに文化センター

の3つのセクションから成り立っています。

（1）日本コースは、小学部及び中学部を持ち、日本文部省の教育課程に準拠し、日本の義務教



育を行うとともに、スペイン語及びメキシコ理解学習を実施。日本人子弟が中心のコースです。新学期は日本国内と同様に4月より始まります。

(2) メキシココースは、小学部、中学部、高校部を持ち、メキシコ公教育省の教育課程に準拠した教育を行うとともに、日本語及び日本文化学習を実施。日系人子弟を含むメキシコ人子弟が中心のコースです。新学期は9月に始まります。

(3) 文化センターは、両コースの中間に位置して架け橋的役割をもつもので、幼稚部、日本語教育部、国際交流部、クラブ活動の4部門をかかえ、両国文化交流の促進を図っています。幼児教育、メキシココースの日本語及び日本文化学習、院内外の交流活動、異文化理解教育、各種研究会・交歓会、院内外の一般成人向け文化講演会・講習会、諸外国への研修旅行、クラブ活動の指導など、広範な文化交流活動を実施しています。

敷地面積は36,880平方mであり、普通教室64教室（この他に物理、音楽、視聴覚室等の特別教室15教室あり）、講堂、体育館、200mトラックをもつ運動場、球技場、25m屋内プール、駐車場等を備えており、メキシコ国内でも有数の設備と敷地面積を持つ学校です。



創立30周年記念式典 2007年9月



## 日本コースの活動

### <日本コース学校教育目標>

小学部「生き生き学ぶリセオの子」

「思いやりいっぱい リセオの子」

「元気はつらつ リセオの子」

中学部「自分で考え、主体的に学習できる生徒」

「相手の立場を考え、協力して活動できる生徒」

「お互いの国を理解し、相違を尊重できる生徒」

<職員> 26名

派遣教員 16名 (埼玉 大阪 新潟 高知 滋賀 茨城 奈良 千葉 神奈川 鹿児島 岩手 広島 岡山 東京 北海道)

英語講師 1名 スペイン語講師3名

常勤講師(現地採用) 1名

補助教員(現地採用) 1名 司書 1名

事務主任 1名 会計士 1名 事務補 1名

### <生活時程表>

小 学 部	共 通	中 学 部
職員朝会	8:05~ 8:15	職員朝会
業前活動	8:15~ 8:30	業前活動
朝の会	8:30~ 8:40	朝の会
1校時	8:40~ 9:30	8:40~ 9:30 1校時
2校時	9:35~ 10:20	9:35~ 10:25 2校時
3校時	10:30~ 11:15	10:30~ 11:20 3校時
4校時	11:30~ 12:15	11:25~ 12:15 4校時
昼休み	12:15~ 13:05	12:15~ 13:00 昼休み
5校時	13:05~ 13:50	13:00~ 13:50 5校時
6校時	14:00~ 14:45	13:55~ 14:45 6校時
清掃 (帰りの会)	14:45~ 15:00	清掃 (終会)
帰りの会 (7校時)	15:00~ 15:45	15:00~ 15:50 終会 (7校時)
バス乗車	16:00	バス乗車

※ 中学部木曜日のみ 14:15~15:40が7校時 15:40~15:50が終会とする。

業前活動(月)集会活動 全校朝会 学部朝会

- (火) 業前体育
- (水木) 朝学習
- (金) 朝読書

<児童生徒数>

	学年	男	女	合計	家庭数
中学部	3年	7	5	12	12
	2年	7	7	14	14
	1年	8	4	12	10
	合計	22	16	38	36
小学部	6年	7	8	15	9
	5年	5	13	18	10
	4年	12	9	21	13
	3年	2	6	8	6
	2年	11	9	20	11
	1年	9	9	18	9
	合計	46	54	100	58
総合計	68	70	138	94	

2007年5月現在

<年間行事>

	日本コース行事	交流関連行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式・着任式</li> <li>・入学式</li> <li>・身体測定</li> <li>・1年生を迎える会</li> <li>・懇談会</li> <li>・こどもの日交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リセオ研究発表会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール開き</li> <li>・教育相談週間</li> <li>・内科検診</li> <li>・小学部読書の日</li> <li>・進路説明会</li> <li>・SEP卒業認定試験</li> <li>・PTA総会</li> <li>・学習参観日</li> <li>・合同業前体育</li> <li>・中学部合唱発表</li> <li>・中3修学旅行</li> <li>・オアステバック林間学校</li> <li>・小1・2年遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同クラブ開始</li> <li>院内サッカー大会</li> <li>教師の日食事会</li> <li>教職員研修旅行</li> <li>メキシココース母の日フェスタ</li> <li>メキシココース芸術発表会</li> <li>学生の日交流</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診</li> <li>・小学部読書の日</li> <li>・合同業前体育</li> <li>・中学部中間考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内ホームステイ</li> <li>メキシココース高等部卒業式</li> <li>院内ソフトボール大会</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本コースクラブ開始</li> <li>・中学部卒業生に学ぶ会</li> <li>・保護者面談</li> <li>・体験入学受け入れ</li> <li>・中学部カサダヤ事前学習会</li> <li>・中学部カサダヤボランティア</li> <li>・PTA懇親会</li> <li>・中学部総合発表会</li> <li>・リセオのど自慢</li> <li>・夏季休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メキシココース幼稚部卒園式</li> <li>メキシココース小学部卒業式</li> <li>メキシココース中学部卒業式</li> </ul>
8月		メキシココース始業式
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学部期末考査</li> <li>・児童生徒会役員選挙</li> <li>・大清掃</li> <li>・前期終業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学院記念式典</li> <li>合同クラブ開始</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期始業式</li> <li>・身体測定</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAバザー</li> <li>・漢字検定</li> <li>・学習参観</li> <li>・小学部音楽発表会</li> <li>・音楽鑑賞会</li> <li>・中学部社会科見学</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学部中間考査</li> <li>・小学部読書の日</li> <li>・中学部メキシココース高等部見学</li> <li>・中学部ようこそ先輩</li> <li>・小6修学旅行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>死者の日交流</li> <li>リセオ大運動会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者面談</li> <li>・中学部中3を送る会</li> <li>・中学部仮卒業式</li> <li>・冬期休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天皇誕生日レセプション</li> <li>学院朝会</li> <li>クリスマス交流</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内西語検定</li> <li>・小学部読書の日</li> <li>・教育相談週間</li> <li>・学習参観</li> <li>・中学部日英西学習発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学院朝会</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生説明会</li> <li>・学習発表会</li> <li>・小中連絡会</li> <li>・中学部期末考査</li> <li>・中学部入学説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語弁論大会</li> <li>リセオ文化祭</li> <li>院内ホームステイ</li> <li>学院朝会</li> <li>院内バレーボール大会</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部6年生を送る会</li> <li>・卒業式</li> <li>・修了式</li> <li>・春季休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚部ライオン組卒園式</li> </ul>

<特色ある行事の紹介>

**交流授業** それぞれの学年で年に数回メキシココースと合同で授業を行います。内容は、中学部の例としては、お互いの文化紹介(両国の伝統的な遊び、スポーツ交流など) メキシココースは日本語授業の一環として行うので、必ず日本語教育部の教師が入り、通訳もしてくれます。



**学院朝会** 月に一回、メキシココース、日本コース全体が集まって、それぞれの学部が色々なテーマで発表します。日本コースでは、昨年度は1月が担当になり、「日本のお正月」をテーマに発表しました。

独立記念日の月には、独立までの歴史を劇で発表したりとそれぞれの担当学部が創意を凝らして発表するので、保護者もたくさん見学にきます。



## カサダヤ 中3の総合学習の中で、メキシコ



の社会問題について学習します。その中にメキシコのストリートチルドレン問題について学習するのですが、ボランティア活動の一環として休日に

「カサダヤ」という施設を訪問します。「カサダヤ」は、ストリートチルドレンで出産した女子をその子どもと共に受け入れ社会復帰をするための教育をしているところです。

13才から17才までの女子が20名ほど子どもと一緒に暮らしています。

中学部では、簡単な日本食をごちそうしたり、折り紙や習字、手作りの遊び道具を用意して半日一緒に過ごします。また、保護者にも呼びかけ物資の援助もします。(おむつ、古着、食べ物、生活用品など)



## オアステペック林間学校

普段、治安の関係などで家族と離れて宿泊する機会のない日本コースの子ども達が最も楽しみにしている行事です。

小学部3年以上が、シティーから1時間半ほどの場所クエルナバカにある保養施設に2泊3日の日程で宿泊します。小学部は保養所内のトイレシャワー付きの宿泊棟に泊まりますが、中学部はテント生活です。施設の中には、プールもありシティーに比べると空気も澄み温暖な気候の中、子ども達はのびのびと野外活動を楽しみます。期間中には、小学部と合同の夕食会やキャンプファイヤーもあり、小学部と中学部が交流を深めます。



## リセオ大運動会

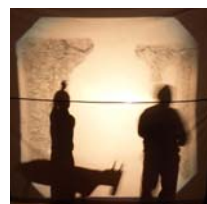
メキシココースと合同で行う行事で最も大きいのが大運動会です。11月の第2日曜日に行われます。この行事に向けて学院の中に運動会実行委員会が設置され、各セクションの代表者がメンバーとなっています。9月から徒競走、各学年の団体種目、文化紹介のダンスの練習が始まります。音楽科では、日本コース小学部4・5・6年生とメキシココース6年生との合同で鼓笛隊が結成され、当日に向けて合同練習を行います。文化紹介では、各コースが出し物を行います。昨年度日本コースでは、中学部の組み体操、全員でのよさこい鳴子踊りを行いました。毎年大好評です。



## リセオ文化祭

毎年2月に行われます。この日は学校を開放して、学院関係者以外も見学にきます。日本食(たこ焼き、焼き鳥、おにぎり・・・)メキシコ料理(タコス)などの屋台も出ます。また、PTAの方達で、折り紙や浴衣の着付けなど、日本文化を紹介するコーナーも出していただきます。

日本コースでは、午前中に講堂で各学年の発表会を行います。午後はメキシココースの発表があります。メキシココースの子ども達が、和太鼓やメキシコダンス、歌や合奏の発表を行います。屋外特設ステージでもバンドの発表もあります。日本コースの子ども達も、タコスや焼き鳥などを食べながら見学します。



## 合同クラブ

毎週2回、メキシココースとの合同クラブがあります。小4から中2までの日本コースの子ども達は、生け花、折り紙、卓球、バスケットボール、ソフトボール、サッカーボール等のクラブに所属し活動します。指導者はメキシココース、日本コース、日本語教育部の教師やクラブによっては外部コーチがつきます。日本コースは7校時の時間を使っての活動になります。



## 有意義だった日系人の方 達との交流

### 和太鼓チームデコロッソ

日本メキシコ学院には、職員を中心に和太鼓チームがあり活動をしています。メンバーは10人ほどです。週に1~2回、放課後の時間を使って学院で練習をします。レパートリーはオリジナル曲4~5曲です。

活動は、メキシコシティにある日系人の方達が集う施設「日墨会館」での演奏が主でしたが、その演奏を聞いてのオファーも結構ありました。

忘れられないのは、2006年に、メキシコ近郊の町クエルナバカで開催されたフェスティバルに招待されたことです。その町では毎年世界各国の国の一つをテーマにしてフェスティバルを開催しているのですが、その年はちょうど「日本」がテーマでした。日本メキシコ学院に和太鼓チームがあることを聞きつけたフェスティバル担当者から数ヶ月前に出演のオファーがきたのです。スペイン語での交渉は、事務の先生が引き受けてくれました。出演料は要りませんと言うと、大型バス1台、楽器輸送用ワゴン車1台、家族も含めた約25人ほどのメンバーの宿泊と食事付きになりました。あまりに待遇がいいので当日になるまで「大丈夫?」「ほんとにバスは来るの?」とかなり心配をしましたが、学院にやってきたベンツマークの大型バス

を見て全員が驚喜しました。

ホテルは?もちろんプール付きで子ども達は大喜び。食事は?当日の夜と翌日の朝とメキシコ料理を堪能しました。特に演奏終了後の夕食会ではフェスティバル担当の方々も一緒に、お店の人も巻き込んで歌って踊ってのにぎやかなパーティーとなりました。

最後にお店の人にサインを下さいといわれみんなでポスターの裏にサインをしました。翌日朝食に同じお店に行くと、しっかりお店の壁に私たちのサインが貼ってありました。

さて、肝心の演奏は?当日はテレビ中継もありかなり大きな舞台で緊張しましたが、会場からはたくさんの拍手、最後にはクエルナバカ市長さんより感謝状もいただいて大満足の一泊二日の演奏旅行となりました。



### 日墨協会合唱団

メキシコシティには、日墨協会があり日系人の方達が集って日本とメキシコの文化交流を行っています。昨年、協会に所属している方を中心に合唱団が結成されました。指導には是非日本メキシコ学院の音楽科の先生にということで日本コースの私と、日本語教育部で音楽担当している先生の2名で指導することになりました。

月に4回練習日があり、日本の歌曲を中心にレパートリーを増やしていきました。「もみじ」「花」「千の風になって」「メヒコリンド」「サンダウンガ」などです。スペイン語の歌は、メンバーの方が親切に意味や発音を教えてくれました。

初舞台は、1月の日墨会館で開催された新年会です。大使ご夫妻を初め現地で活躍されている日系人の方達が沢山来られましたが、当日はアンコールも出て楽しく発表することができました。

とにかく歌ったり踊ったりパーティーの大好きなお国柄。練習が終わったところに、いつの間にかテキーラグラスが出てきてみんなで乾杯になったり、クリスマスには手作りのケーキが出たり、時には生活の相談にのってくれたり



学校だけでは味わえない現地の方達との絆ができました。

このほかにも忘れられないのは、メキシコ自治大学教授の田中先生との出会いもあります。

田中先生はシティーの歴史保存地区にもなっているコヨアカン地区の文化センターで日本語を教えています。ここの生徒達が是非日本のアニメソングを歌いたいとのことで指導することになりました。

シティーでは、日本のアニメの影響で日本語を学ぶ若者が増えています。

歌ったのは、「キャンディ キャンディ」「鉄腕アトム」「翼をください」の3曲です。みんなノリノリで振り付けまで考えました。

発表会は、市内の大型ショッピングモールのイベント広場。メンバーは学生を中心に、お医者さん、芸術家とバラエティーに富んでいます。メンバーの女の子が、コスチュームを作ってくれました。セーラームーンが着るような衣装です。靴下はルーズソックス。もちろん指揮者の私はスーツで良かったのですが、メンバーの50代の女医さんもこの衣装を着ていたのには「さすが、メキシコ！」と恐れ入りました。

## 恵まれたメキシコでの

### 3年間

#### 1. 受け入れ家族に感謝

とにかく、メキシコに着いた翌日から、住宅の契約、自動車免許の取得、生活必需品の買い物と一息つく暇はありませんでした。

ありがたいのは、新赴任に1家族受け入れ担当の教員（家族）がついてくれて、生活の面倒を見てくれます。独身の私の場合、平日のごまごまとした用事たとえば、衛星TVの契約、住居の修理など担当教員の奥様が引き受けてくれました。受け入れ期間は役一ヶ月。自動車の運転ができなかったので学校の往復も担当の先生が送り迎えをしてくれました。

リセオでは、新赴任と受け入れ担当者は家族も同然といわれています。

#### 2. 車社会

毎朝出勤するときに思うことは何だと思いませんか。「今日も無事に帰って来れますように・・・。」です。自家用車で通勤するのですが、これが大変。

「運転するときは、サングラスをして窓を開けないように。ドアは必ずロックする。警官に

止められてもすぐに免許証を見せてはいけません。事故にあったときは、警察を呼ばずまず、保険会社に連絡を。夜10時以降は、赤信号でも止まらない。出かけるときは死に金をポケットに入れておく・・・」

メキシコでは、自動車免許はお金を払って取得します。試験はありません。なので交通規則はあってないようなものといったらオーバーですが、それに近いものがありました。

#### 3. 留守録はできません。

シティーはよく停電になります。特に雨季の時期には、停電のため信号機も止まってしまうので大渋滞になってしまうこともしょっちゅうです。なので、留守録はできません。家電でタイマーがついているものが多いですが、メキシコでは何の役にも立ちません。かえって時刻あわせが面倒です。雷も多く、そのためか電気製品が故障しやすいです。ちなみに私の場合、日本から持参したパソコン2台とも壊れてしまいました。停電ではありませんが、友達を迎えに空港に言ったときには、エレベーターが故障して20分くらい閉じ込められたことも・・・。メキシコでは時間に余裕を持って行動しましょう。

大きな行事、学習発表会、卒業式など停電にならないことを祈るばかりです。

#### 4. 親切的なメキシコ人

少々言葉がわかるようになると、道を聞いたりします。とても親切に教えてくれます。でも、必ず複数の人に道を聞くようにしています。なぜってみんな違うこと言うからです。わからなかったらわからないって言うてくれてもいいのに・・・。

健康診断で病院にいったときのこと。スペイン語が良くわからず困っていたら、掃除のおばさんがこっちに來いと手招きをしています。なんとレントゲン室を教えてくれたのでした。レントゲン室から出るとさっきのおばさんがまだいます。出口がわからないしていると、またこっちに來いと手招き。結局病院の玄関まで先導してくれました。

メキシコでは一人旅をすることがほとんどでした。空港では、時間つぶしに本を読んだりしていました。ある日、隣に話好きそうなおばさんが座ってきたので目を合わせないようにしていましたが、案の定話しかけてきました。「日本人?」「どこにいくの?」「同じ場所だね。」「私はこのホテルに泊まっているから、電話をちょ

うだい。」「一緒に食事をしましょう。」  
日墨友好のためにはお誘いを受けたほうがよかったのでしょうか。

#### 5. 黒い焼きそば？！

ある日本食レストランに入ったときの事。仲間の一人が「焼きそば」を注文しました。何人かは「やめたほうがいいよ。」ととめたのですが。30分くらい待って出てきた焼きそば。「ねえ、なんか黒くない？このやきそば。」よく見ると乾麺の日本そばをゆでていたためたものでした。でもねこれくらいのこと驚いてちゃあいけません。あるお店では、うどんだしを薄めただけのような汁にラーメンが入って「しょうゆラーメン」でした。日本に帰るとこの味が恋しくなるのだとか。

#### 6. ポテトチップスにチレとレモン

メキシコ人はほんとに辛いものが好きです。小さな子もチレ（とうがらしパウダー）をかけます。露天でポテトチップスなどを売っていますが、必ずといって良いほどチレがかかっています。果物にもチレをかけます。痔の悪い人は気をつけましょう。

ちなみに、わさびが苦手なメキシコ人も多いです。チレの辛さとはまた別なのだとか。

#### 7. タランチェラは30ペソでお買い上げ

ある日、日本コースの職員室に、掃除のおばさんが見慣れない生き物を箱に入れてもってきました。中には長さ10センチくらいもある、まさしくテレビで見たそのままの毒蜘蛛「タランチェラ」が！

リセオの校舎の庭で見つけたらしいのですが、日本コースに持っていくと高く売れるというのが知られているらしく、売りに来たのでした。やはり昆虫好きの先生が30ペソでお買い上げです。家ではかなり迷惑がられたようです。

#### 8. 先生、ここはメキシコだから。

オアステペック林間学校に言ったときのこと。昼食に予約を12時に入れていたレストランに行ったら、「ここが開くのは1時からだ、まだ入れないよ。」と当然のように言われてしまいました。レストランの外では子どもたちがハンバーガーランチを待っています。こっちも食いが下がるのですが、一向に準備する気配もなく。施設の担当者には12時になって確認したのに・・・と期限を悪くしていると、「先生、ここはね、メキシコだからね、怒らないの。」と諭されてしま

いました。子供たちはのんびりとサッカーをしたりバレーをしたり1時間当たり前のように待っていました。さすが！リセオの子！

#### 最後に

え、なんで？と思うこともメキシコの生活では多々ありました。でもとにかく3年間無事に過ごして日本に帰ってこられたことに感謝です。

学院ではとにかく職場に恵まれていました。家族ぐるみの付き合いで楽しく過ごすことができました。行事が多い職場でしたが、みんな陽気でしかもやる時は全員が力を合わせて取り組む、苦しいことや辛いこともジョークに変えて楽しんでさえしまう、頼もしい仲間でした。

仕事は大変でしたが、やりがいがありました。小学1年生から中学3年生までの音楽の授業ができたことは、音楽科教師として貴重な体験となりました。

小学校1年生の授業では、当初宇宙人を相手に授業をするような気持ちでした。中学生と違ってのびのびと屈託無く身体表現をする姿。初めての鍵盤ハーモニカやソプラノリコーダーの指導。中学生では当たり前に行えることも、小学生では知らないのが当たり前。小学校での音楽教育の重要性を実感しました。

文化祭や全校朝会など音楽科関係で発表することは多く精神的にも厳しいものはありましたが、学院の方達、保護者の方からいつも暖かい励ましの言葉をいただきました。このことは子ども達にとっても私自身にとっても大きな励みとなりました。そしてなんととっても子ども達の笑顔に支えられました。

メキシココースの先生たちとの交流ができたことも忘れられません。特に音楽科の先生達との出会い。日本教育部の音楽の先生とは公私にわたっておつきあいいただきました。

メキシコのやり方と日本との違いなどもありぶつかることもしばしばでした。異国の地で子育てをしながら厳しい生活環境の中で明るくくじけず生活している彼女からはたくさんのエネルギーをもらいました。

他にも太鼓や合唱を通しての様々な人たちとのふれあい。すべて財産です。

メキシコ人の陽気さ、恐るべしプラス思考、おおらかさ、家族の絆など学ぶこともたくさんありました。また、日本という国、日本人であることについて考えさせられた3年間でもありました。しんどいこともありましたが、たくさんの人たちに支えられ貴重な体験させていただいたことに感謝いたします。ピバ メヒコ！